

令和4年度 業務計画書

〔こども劇場課〕

1. 事業方針

『未来ある子どもたちの夢をはぐくむ劇場づくり』

コロナ禍の影響で、人々が集まり一緒に行動を取らなくとも各自が離れた場所で役割を果たす新たな生活のスタイル、すなわち分散社会が現れてきている。取り残されそうな人を放置せず、生きづらさを抱える他者に寄り添う寛容さが求められ、将来にわたって持続可能な社会を築けるかを、今問われている。これらの社会変化や人々の行動変化、環境問題、教育格差等、様々な課題が突き付けられている現在、子どものための専門劇場として、そこを解消するために何ができるのか、本当の豊かさとは何なのかを考え、劇場運営をとおして社会課題に取り組んでいくことが重要である。

劇場課では、「文化芸術が栄えること＝すべての子どもたちのこころの豊かさが育まれ、将来へ受け継がれていくこと」と捉え、文化芸術の力を実感する事業を展開し、札幌の文化をリードしていく。良質な舞台芸術の創造発信、継続的な文化体験機会の創出を図り、将来における文化事業の重要性を今一度社会に知らしめ、芸術を守り育てていく持続可能な劇場づくりを目指す。

ソーシャルインクルージョンの機能を持ち、障がいの有無にかかわらず、誰もが文化体験の機会を享受できること、かかわる人材の育成、市民の持つ人的資源の発掘、子どもの文化に関する相談窓口、講師派遣など、公立専門劇場として様々な文化団体、劇団、市民をつなぐネットワークの拠点となることを実現していく。

また、令和4年度は札幌市との指定管理現契約の最終年度を迎えることを踏まえ、次期指定管理事業提案に向けた将来的な展望を見据え、市民ニーズに応える試行的な取り組みを展開する。

2. 重点目標

(1) 地域活動等事業

「夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり」

劇場という空間が特別なものではなく、地域に開かれた親しみある場として、子どもから大人まで多くの市民が集い合い、夢や笑顔を交わすことで生まれる創造的な取り組みを支援し、人や地域の活性化につなげる。

(2) 施設運営等事業

文化芸術を継承する人材の育成を劇場運営の根幹に据え、子どものための人形劇や児童劇、伝統芸能等の担い手である市民劇団を育成する。その市民劇団により、劇場は単に鑑賞の場だけでなく創造の場としての機能が加わり、様々な人が交わる地域コミュニティの発展を支える場を形成する。

① 「子どもたちへ芸術の鑑賞及び体験機会の拡充」

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちの日常生活において観劇や文化芸術に接する体験の機会が乏しくなっている現状から、感染防止に十分留意した上でその機会の拡充を図ることで、元気と心の豊かさを取り戻し、明るい未来を描くことができる支援を行う。

②「豊かな子ども文化の街・さっぽろをデザインする」

コロナ禍より新たな劇場スタイルとして実践してきた野外劇場を定番化し、雪の舞台での野外人形劇や、サイトスペシフィックパフォーマンス（移動体験型人形劇）等、あらゆる劇場空間を演出していく試みを積極的に展開する。将来における劇場の在り方を模索すると同時に、市民がより身近に文化芸術に触れることができる豊かな街づくりをデザインする。

③「文化芸術の持つ社会的包摂機能の推進」

老若男女、社会的状況、障がいの有無にかかわらず、誰もが文化芸術・体験の機会を享受し、創造者として参加できる相互共生社会を構築する。

3. 数値目標

(1) 利用者総数

やまびこ座 年間利用者数 55,000 人

こぐま座 年間利用者数 15,000 人

(令和2年度実績：やまびこ座 25,005 人、こぐま座 10,345 人)

(令和3年度見込：やまびこ座 27,100 人、こぐま座 15,199 人)

(2) 事業プログラム参加者総数

24,000 人

(令和2年度実績：13,739 人)

(令和3年度見込：16,078 人)

(3) 利用者アンケートにおける満足度

85%以上

(令和2年度実績：99.8%)

(令和3年度見込：99.5%)

(4) 新規人形劇団の誕生及び育成

3 劇団

(令和2年度実績：6 劇団)

(令和3年度見込：4 劇団)

(5) 年間上演日数及び公演数

やまびこ座 上演日数 120 日、公演数 200 回

こぐま座 上演日数 120 日、公演数 200 回

(令和2年度実績：やまびこ座 106 日 150 回、こぐま座 75 日 104 回)

(令和3年度見込：やまびこ座 99 日 147 回、こぐま座 94 日 141 回)

(6) 資料室MA・SO・BO年間利用者数

10,000 人

(令和2年度実績：4,165 人)

(令和3年度見込：7,207 人)

【参考】施設休館等

令和2年度

やまびこ座： 61 日（4/1～5/31） 緊急事態宣言により休館
こぐま座： 68 日（4/1～6/7） 緊急事態宣言により休館
36 日（11/17～12/27） 舞台改修工事のため休館

令和3年度

やまびこ座： 105 日（5/3～7/12、8/27～9/30） 緊急事態宣言により休館
32 日（4/24～5/2、7/22～8/26） まん延防止等重点措置により夜間利用休止
こぐま座： 105 日（5/3～7/12、8/27～9/30） 緊急事態宣言により休館
32 日（4/24～5/2、7/22～8/26） まん延防止等重点措置により夜間利用休止

4. 事業実施計画書(地域活動等事業)

(単位:千円)

No.	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	被災地への継続文化支援活動事業 【共通】 (継続)	<p>子ども若者事業部連携事業として被災地への支援を継続的に行う。やまびこ座・こぐま座で活動をする人形劇団やパフォーマーの協力を得て、これまで継続して活動を行ってきた福島県への支援のほか、2018年に起きた北海道胆振東部地震で被害が大きかった厚真町など地元の協力団体と連携をした事業を展開する。やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクトとの共催事業。</p> <p>①GWチャリティー公演 ②被災地支援人形劇公演 ③伝統人形芝居ワークショップ ④地域交流イベント ⑤募金箱設置 等</p> <p>[対象・定員]福島県、厚真町・子ども～大人まで ※文化庁助成要望事業</p>	<p>【令和3年度実績予測】 [時期・回数] ①中止 ②③④12月～3月・年2回 (一部リモート実施) ⑤通年</p>	受取補助金 1,660	<p>旅費交通費 1,277 賃借料 455 諸謝金 1,090 ※他子ども事業課 経費</p>
			<p>【令和4年度】 [時期・回数] ①5月 ②③④ 9～3月・年3回 ⑤通年</p>	受取補助金 1,266	<p>旅費交通費 1,000 諸謝金 200</p>
2	物品販売事業 【共通】 (継続)	<p>NPO法人やどもの会等の協力を得て、やまびこ座、こぐま座で手作りおもちや、ハンドパペット、オリジナル商品等の販売を行う。人形劇公演時に販売を行い、公演の集客、活性化を図る。</p>	<p>【令和3年度実績予測】 [時期]通年 [回数]公演時</p>	物品販売 161	消耗品費 150
			<p>【令和4年度】 [時期]通年 [回数]公演時</p>	物品販売 300	消耗品費 200

5. 事業実施計画書(施設運営等事業)

(単位:千円)

No.	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	やまびこ座夏まつり 【やまびこ座】 (継続)	やまびこ座を利用する劇団や町内会等地域団体と協働で実行委員会を組織し、地域住民に向けたお祭りを実施し地域交流、地域貢献を図る。	【令和3年度実績予測】 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	-	-
			【令和4年度】 【時期】8月13日、14日 【回数】1回(2日間)	-	-
2	読み語りの会 【やまびこ座】 (継続)	毎週水曜日(長期休み・祝日を除く)ボランティアによる絵本・紙芝居などの読み語りを実施する。劇場と地域、市民との出会い、交流の場をつくる。	【令和3年度実績予測】 【時期】通年 【回数】29回	-	諸謝金 50
			【令和4年度】 【時期】通年 【回数】40回	-	諸謝金 50
3	中島児童会館協働事業「かもくま祭」 【こぐま座】 (継続)	中島児童会館と協働、地域団体と連携を図り、開館記念祭を実施する。近隣住民を中心に多くの市民が集い楽しむお祭りとする。両施設のPRを図る。	【令和3年度実績予測】 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	-	※こども事業課経費
			【令和4年度】 【時期】7月2日、3日 【回数】1回(2日間)	-	※こども事業課経費
4	人形劇観劇スタンプラリー 【共通】 (継続)	観劇者の増加、リピーターの確保を目的に、人形劇公演での観劇スタンプラリーを実施する。ボランティアの協力を得て製作した指人形を観劇回数に応じてプレゼントする。	【令和3年度実績予測】 【時期・回数】通年	-	印刷製本費 70
			【令和4年度】 【時期・回数】通年	-	印刷製本費 70
5	こどもの劇場通信 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座両劇場の公演・事業等の紹介するリーフレットを定期的に発行し、広く市民にPRを行う。	【令和3年度実績予測】 【時期・回数】年6回発行	-	印刷製本費 597 諸謝金 352
			【令和4年度】 【時期・回数】年6回発行	-	印刷製本費 600 諸謝金 352
6	事業サポーター制度 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座の事業に賛同いただけるサポーターを募集し、事業の活性化、子ども文化の発展に寄与する。(財団こども基金「さっぽろスマイルキッズ」の一環)	【令和3年度実績予測】 【時期・回数】通年	-	-
			【令和4年度】 【時期・回数】通年	-	通信運搬費 30 消耗品費 10
7	市民ボランティア「やまびこ座たのしませ隊」 【やまびこ座】 (継続)	公演日の開演前後のロビーを活用し、工作や昔遊び等を行う。リピーターの確保と、公演の活性化を目指す。	【令和3年度実績予測】 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	-	-
			【令和4年度】 【時期・回数】通年	-	-
8	児童劇団育成事業 【やまびこ座】 (レベルアップ)	道内では数少ない児童演劇を上演する人材を育成し、児童文化を地域から発信していく。 ①児童演劇講習会 【対象・定員】18歳以上(高校生不可)・25名 ②第30期やまびこ座遊劇舎 【対象・定員】小学3年生～6年生・20名 ③第20期劇☆やまびこ座YOUTH 【対象・定員】中高年生・20名 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 【時期】6月～11月 【回数】全27回(一部リモート実施)	参加料 109 入場料 105 受取補助金 2,124	諸謝金 538 消耗品費 22
			【令和4年度】 【時期】①6月～1月、②15月～12月、③6月～1月 【回数】①全12回、②全34回、③全12回	参加料 260 入場料 85 受取補助金 864	旅費交通費 18 印刷製本費 200 諸謝金 800

9	初心者のための人形劇講座 【共通】 (継続)	札幌の人形劇の新しい担い手の育成を目的とし、劇場公演の活性化につなげる。やまびこ座、こぐま座それぞれ開講し、最終回には合同で修了記念公演を実施する。 [対象・定員]18歳以上・各10名 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 [時期]4月～11月 [回数]全15回	参加料 56	-
			【令和4年度】 [時期]4月～7月 [回数]全13回	参加料 80 入場料 24	諸謝金 80
10	経験者のための人形劇クリニック 【共通】 (継続)	活動中の人形劇団を対象とした人形劇講座を開講する。人形劇の質的向上、劇団活動のレベルアップと公演活動の活性化を目指す。 [対象・定員]人形劇団・8劇団 やまびこ座:水曜日、昼・夜コース こぐま座:火曜日昼コース	【令和3年度実績予測】 [時期]11月～3月 [回数]回 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、こぐま座での開講は中止	参加料 75	-
			【令和4年度】 [時期]8月～3月 [回数]20回程度	参加料 160 入場料 40	諸謝金 210
11	人形浄瑠璃講習会 【やまびこ座】 (継続)	大人を対象とした人形浄瑠璃講習会。北海道にはなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると同時に、札幌の文化を担う人材を育成することを目的とする。やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用い三人遣いの人形操作を学ぶ。 [対象・定員]18歳以上(高校生不可)・12名程度 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 [時期]6月～2月 [回数]17回	参加料 70 入場料 49 受取補助金1,412	旅費交通費 188 賃借料 100 諸謝金 420
			【令和4年度】 [時期]6月～12月 [回数]17回	参加料 60 入場料50 受取補助金1,021	旅費交通費 384 賃借料 100 諸謝金 540
12	義太夫講習会(一般クラス) 【やまびこ座】 (継続)	北海道にはなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると同時に、札幌の文化を担う人材を育成することを目的とする。人形浄瑠璃の義太夫(語り)と三味線)を学ぶ講習会。 [対象・定員]中学生以上・20名 ※文化庁助成要望事業	【令和4年度】 [時期]10月～2月 [回数]13回	参加料 140 入場料 ※ 受取補助金 ※ ※人形浄瑠璃講習会を含む	旅費交通費 613 諸謝金 520
			【令和4年度】 [時期]5月～12月 [回数]20回	参加料 150 入場料 ※ 受取補助金 ※ ※人形浄瑠璃講習会を含む	旅費交通費 400 諸謝金 520
13	人形浄瑠璃体験ワークショップ 【やまびこ座】 (継続)	近隣小学校、児童会館等へ出向き、人形浄瑠璃の解説や体験をとおして興味関心を引き出す。アウトリーチ活動を通して地域社会へ貢献する。 [対象・定員]小学3～6年生(特別支援学級含む)・延べ140名程度 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 [時期]11月～1月 [回数] 3回	受取補助金 120	諸謝金 60
			【令和4年度】 [時期]6月～10月 [回数]3回程度	受取補助金 150	諸謝金 150
14	公演事業(共催・依頼公演) 【共通】 (継続)	各劇団、団体との共催により、良質な人形劇、児童劇の作品を市民に提供していく。共催名義、宣伝等の協力を行う。併せて他団体からの依頼を受け、アマチュア人形劇団の協力を得ながら、人形劇等の公演、ワークショップ、短期講習会を実施。	【令和3年度実績予測】 [時期・回数]通年	-	-
			【令和4年度】 [時期・回数]通年	-	-
15	舞台スタッフ指導事業 【やまびこ座】 (継続)	やまびこ座公演時に照明他、舞台技術に関心のある初心者を対象に、実践をとおした指導を行うことでより良い作品創りを目指す。	【令和3年度実績予測】 [時期]新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	-	-
			【令和4年度】 [時期]通年	-	-

16	指導育成事業 砂川人形劇創作体験プログラム 【やまびこ座】 (継続)	砂川市地域交流センターゆう(NPO法人ゆう)の主催事業である「人形劇講座」(小学生、中高生、大人対象)に対して、講師の派遣、指導を行う。劇団育成を目標に、札幌の人形劇団との交流も支援していく。	【令和3年度実績予測】 [時期]7月～3月 [回数]全15回	企画事業 400	賃借料 30 諸謝金 30
			【令和4年度】 [時期]通年 [時期]5月～3月 [回数]全20回	企画事業 500	旅費交通費 166 賃借料 30 諸謝金 30
17	ざ・にんぎょうじょうり りユースクラス 【やまびこ座】 (継続)	小学校6年生から高校生を対象にした人形浄瑠璃講習会。子どもたちの可能性を引き出す場とし、古典芸能の面白さを若い世代に伝え、将来の札幌の文化を担う人材を育成する。やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用い三人遣いの人形操作を学ぶ。 [対象・定員]小学6年生～高校3年生・15名程度 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 [時期]6月～2月 [回数]17回	参加料 15 入場料 15 受取補助金 ※ ※人形浄瑠璃講習会に含む	※人形浄瑠璃講習会に含む
			【令和4年度】 [時期]7月～12月 [回数]17回	参加料 30 入場料 15 受取補助金 ※ ※人形浄瑠璃講習会に含む	※人形浄瑠璃講習会に含む
18	こぐま座子ども人形劇団 【こぐま座】 (継続)	小学生を対象に、人形劇を通したグループ活動を実施する。表現の楽しさ、演じる喜びを体験できる場とし、子どもたちの舞台芸術活動の可能性を引き出すことを目的とし、成果を発表する場として人形劇の公演を行う。[対象・定員]小学3年生～6年生・15名	【令和3年度実績予測】 [時期]7月～3月 [回数]全34回	参加料 27 入場料 6	諸謝金 200
			【令和4年度】 [時期]5月～3月 [回数]全40回	参加料 45 入場料 12	諸謝金 200
19	パペットユース スクール 【こぐま座】 (継続)	人形劇を通して子どもたちの可能性を拡げ、創造性や自主性を養うことを目的とする。また、表現活動を通した仲間づくりなど中高生への受け入れの場とする。子どもたちが継続した活動を行えるよう支援し、将来の人形劇文化の担い手を育成する。 [対象・定員]中高生・15名	【令和3年度実績予測】 [時期]7月～12月 [回数]全11回	参加料 48 入場料 20	諸謝金 200
			【令和4年度】 [時期]6月～1月 [回数]全30回程度	参加料 45 入場料 18	諸謝金 200
20	劇団育成支援事業 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座を利用する劇団の育成支援事業を実施する。利用料金の一部負担を行うことで、劇団活動の活性化に結びつける。	【令和3年度実績予測】 [時期]通年	参加料 26	(内部取引 2,371)
			【令和4年度】 [時期]通年	参加料 150	(内部取引 3,000)
21	こども舞台体験プログラム「ふれアート」 【やまびこ座】 (継続)	人形浄瑠璃に関するさまざまな舞台体験を通して、豊かな体験の機会を提供し、子どもたちの新たな可能性を発見できる場とする。さっぽろ人形浄瑠璃あしり座との共催事業。 [対象・定員]小学校3年生～高校生・各回30名	【令和3年度実績予測】 [時期]7月、10月 [回数]2プログラム(計4日)	※共催者経費	※共催者経費
			【令和4年度】 [時期]6月～1月 [回数]3プログラム(計6日)	※共催者経費	※共催者経費
22	やまびこ座プロデュース 児童劇公演 【やまびこ座】 (継続)	北海道演劇財団との協力事業として、舞台作品の素晴らしさを発信し、札幌の子ども文化への関心を高めていくことを目的として実施する。 [対象・定員] 各公演:小学生～大人・100名 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績】 [時期]新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	-	-
			【令和4年度】 [時期]5月7日、8日 [回数]3回	入場料 483 受取補助金 512	印刷製本費 50 諸謝金 1,300

23	やまびこ座・こぐま座 野外人形劇シリーズ 【共通】 (新規及び継続)	一年をとおしての豊かな自然環境を活かし、札幌ならではの野外人形劇を実施する。コロナ禍においての感染リスクを低減した野外劇場の効果を活かし、継続的な文化発信を目指す。 ①こぐま座サイトスペシフィック・パフォーマンス『ピクニックシアター「コロボックル・シンバヤ」』(新規) ②冬の野外人形劇場「SAPPORO SNOW STAGE in NakajimaPark」(新規) ③おそとで人形劇場～あおぞらキッズシアター&ほしぞらキッズシアター(継続) ③あおぞらキッズシアター拡大版「ピクニックシアターin中島公園」(新規) ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 【時期】 ①9月 中止 (トレーラー撮影のみ) ②2月 ③7月～8月 一部中止 【回数】 ①2回(2日間) ②4回(2日間) ③68回	入場料 84 企画事業 165 受取補助金2,860	旅費交通費 221 消耗品費 129 諸謝金 4,269 ※その他こども事業課経
			【令和4年度】 【時期】 ①6月25日、26日 ②2月4日、5日 ③5月～8月 【回数】 ①2回(2日間) ②4回(2日間) ③13回	入場料 595 受取補助金4,838	旅費交通費 290 印刷製本費 330 賃借料 575 諸謝金 3,720 委託費 1,500 ※その他こども事業課経
24	第51回記念 札幌人形劇祭 【やまびこ座】 (継続)	経験豊かな審査員から客観的な意見を聞く有意義な場として人形劇のコンクールを実施する。連続公演のほか経験者を対象にワークショップを実施するなど、作品の質的向上、劇団活動のレベルアップ、公演活動の活性化につなげる。 ▶大人部門(一般・初心者)、こども部門(小学生・中高生) ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 【時期】本祭、表彰式 11月 【回数】本祭1回(3日間)	参加料 67 入場料 142 受取補助金1,557	旅費交通費 82 諸謝金 350
			【令和4年度】 【時期】 本祭11月、表彰式及び受賞記念公演1月 【回数】 本祭1回(3日間)、表彰式及び受賞記念公演1回	参加料 36 入場料 105 受取補助金1,189	旅費交通費150 諸謝金 365
25	札幌国際人形劇 フェスティバル 【共通】 (レベルアップ)	海外・道内外の専門劇団を招へいし、公演及びワークショップを実施する。市民に向け質の高い文化を発信、子どもたちに豊かな観劇の機会を提供する。 ①海外特別公演 ②夏の特別公演 ③秋の特別公演 ④春の特別公演 ⑤児童会館巡回公演 ⑥ワークショップ、シンポジウム ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 【時期】①中止 ②～⑥7月～3月 【回数】全20回	入場料 487 受取補助金 581	旅費交通費 552 賃借料 0 印刷製本費 259 諸謝金 3,258 ※その他こども事業課経費
			【令和4年度】 【時期】7月～3月 【回数】全20回程度	入場料 1,293 受取補助金1,770	旅費交通費 244 通信運搬費 24 印刷製本費 380 諸謝金 2,400 ※その他こども事業課経費
26	伝統芸能 『座・競演シリーズ』 【やまびこ座】 (レベルアップ)	日本各地の様々な劇団や多彩なジャンルによる伝統芸能の競演を行うことで、普段なかなか観劇することのできない日本の古典芸能の魅力を伝える。この企画により新たな利用者層の獲得につなげ、現在劇場で取り組んでいる「札幌人形浄瑠璃」を広く市民に伝える機会とする。 ①やまびこ座 ②福島県郡山市 [対象・定員]小学生～大人・100名 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 【時期】10月 【回数】公演2回 ワークショップ1回	入場料 212 受取補助金1,890	旅費交通費 745 諸謝金 2,030 賃借料 100 印本費 64 通信運搬費 50
			【令和4年度】 【時期】 ①10月9日、10日 ②3月4日、5日 【回数】 ①公演2回 ②公演2回	入場料 650 受取補助金1,990 企画事業収益 1,500	旅費交通費 2,658 諸謝金 1,580 賃借料 402 印本費 210 通信運搬費 60

27	アウトリーチ活動 (近隣小学校人形劇体験、養護学校・特別支援学校連携人形劇体験、伝統芸能体験) 【共通】 (レベルアップ)	地域学校現場と連携をし、人形劇や演劇、伝統芸能等の各種体験をとおして、「創造性」「多様性」「関係づくり」など、表現することの楽しさやコミュニケーションの可能性を広げる。 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 【時期】7～9月 【回数】6回 ※演劇は、新型コロナ感染拡大に伴い中止		
			【令和4年度】 【時期】6～11月 【回数】全16回程度	受取補助金 243	諸謝金 100
28	やまびこ座・こぐま座 LINE通信 【共通】 (継続)	LINE公式アカウントを開設し、観劇者、事業参加者の増加を目指し、公演情報や講座案内を配信する。気軽な情報ツールとして、より身近で訪れやすい劇場を目指す。	【令和3年度実績予測】 【時期】通年	-	-
			【令和4年度】 【時期】通年	-	-
29	札幌劇場祭 TGR(シアターゴウラウンド)2022 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座も一員である札幌劇場連絡会(市内の9劇場で組織)が主催して実施する劇場祭。各劇場が連携して企画公演を実施する。	【令和3年度実績予測】 【時期】11月～12月 【回数】1回	受取補助金 90	支払負担金 21
			【令和4年度】 【時期】11月～12月 【回数】1回	受取補助金 90	支払負担金 21
30	こども若者事業部連携事業(子ども劇場課・子ども事業課・こども育成課) 【共通】 (継続)	劇場の専門性を活かし、各児童会館の人形劇クラブなどの指導や育成と一緒に取り組むことで、子どもたちの新たな可能性を引き出す。また、児童会館職員の新たなスキルの構築にもつなげていく。こども若者事業部との連携により、互いに理解を深め、より広がりを持った事業展開を行えるよう協力体制を築いていく。 ①人形劇クラブの指導および育成 ②被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」への現地スタッフ協力 ③応援☆児童会館～おでかけ人形劇	【令和3年度】 【時期・回数】 ①5月～1月 ②12月 ③11月～3月:23回	(内部取引 2,500)	諸謝金 2,080 賃借料 455 ※その他こども事業課経費
			【令和4年度】 【時期・回数】 ①5月～11月 ②9月～3月 ③11月～12月:23回	(内部取引 2,500)	諸謝金 1,500 ※その他こども事業課経費
31	障がい児と創る人形劇 パペットシアタープロジェクト「北のおぼけ箱」 【共通】 (新規)	やまびこ座・こぐま座で人形劇講座で育成する小学生から高校生、大学生がリーダーとなり、発達障がいの子どもたちと共にワークショップを重ね、人形劇を創り、上演する。 [対象・定員]小学生～大人・100名 ※文化庁助成要望事業	【令和3年度実績予測】 (参考)※受託で実施 【時期】2月 【回数】1回	(参考) ※受託で実施 企画事業 250	(参考) ※受託で実施 諸謝金 850
			【令和4年度】 【時期】11月～2月 【回数】2日間(2回) 全5回程度	入場料 267 受取補助金1,370	印刷製本費 210 諸謝金 1,845

32	中島児童会館一体 連携事業 【こぐま座】 (継続)	歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、あらためて札幌にとっての子どもの健全育成を図るための総合中心拠点として、全市的な市民PRを含め、広域的、先駆的な事業展開と人材育成を中心とした取り組みを行う。 ①「こどものまなび塾」 児童文化に関わる外部講師を招へいし、子どもたちに関わる人材の育成を図る。将来的には修了者を児童会館でのボランティアスタッフにつなげていくことを目標とする。 [対象・定員]18歳以上・30名 ②「こども文化セミナー」 子どもの健全育成に関わる課題や子ども文化をテーマに外部講師による講演会やシンポジウムを実施する。 [対象・定員]18歳以上・40名 ③「中島児童会館・こぐま座資料室企画展示」 資料室を活用した企画展示、657美術館、イベント等を実施する。 ④おはなしの会 ボランティアによる絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施する。 ⑤MA・SO・BO通信 MA・SO・BOの周知を図るほか、札幌の子ども文化を考える情報、資料を発信する。子どもの文化発信基地として役割を果たす。	【令和3年度】 ①[時期]第1期:8月、第2期:10月、第3期中止 第4期:11月 [回数]全9回 ②[時期]7月、2月 [回数]全3回 ③[時期]6月～3月 [回数]全8回 ④[時期]通年 [回数]全16回 ⑤[時期]通年 [回数]年6回発行	※こども事業課経費	※こども事業課経費
		【令和4年度】 ①[時期]第1期:6月、第2期:9月、第3期:12月 [回数]全3期 ②[時期]6月～12月 [回数]全3回 ③[時期]通年 [回数]全10回 ④[時期]通年 [回数]全20回 ⑤[時期]通年 [回数]年6回発行	※こども事業課経費	※こども事業課経費	

(公財) さ活協育 第 3206 号
令和 4 年(2022 年) 3 月 30 日

札幌市長
秋 元 克 広 様

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
理 事 長 野 崎 清 史

令和 4 年度 札幌市こども人形劇場管理業務における自主事業計画(案)の承認について

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の活動並びに取り組みに対する深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記施設の指定管理に関する協定書は既に締結済みであります。下記のとおり、協定第 33 条に基づき、自主事業計画(案)を策定いたしましたので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

- | | |
|---------|---|
| 1 名 称 | 物品販売事業 |
| 2 目 的 | 市民サービスの一環として、ハンドパペットやオリジナルグッズ等の販売を各公演時に行うことで、集客の一助やリピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図ることを目的とする。 |
| 3 内 容 | 物品販売事業
(1) 収入見込額 100,000円
(2) 販 売 方 法 専用カウンター設置による対面販売
(3) 品 目 ハンドパペット、バッジ、ポストカード、ストラップ等のオリジナルグッズ
(4) 単 価 市価相当の 50 円～900 円を予定 |
| 4 実施期間 | 令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日 |
| 5 そ の 他 | (1) 自主事業は指定管理業務に支障の無い範囲で行い、事業ごとに区分して経理します。
(2) 自主事業収入については、劇場事業費の一部に充当することとし、市民に還元します。
(3) 自主事業の内容等については、札幌市と適宜協議を行い実施して参ります。 |

以上